

## TOPICS

## 4品目で全国第1位 ～平成16年全国消費実態調査 主要耐久消費財に関する結果から～

奈良県統計課がまとめた、平成16年全国消費実態調査 主要耐久消費財に関する結果（奈良県結果）によると、1,000世帯当たりの主要耐久消費財の普及率は、ビデオカメラ、DVDレコーダー、食器洗い機、ユニット家具の4品目で全国1位となった。調査対象40数品目のうち大半が全国水準を上回っており、奈良県民の豊かな消費生活が浮き彫りになった。

### ■全国消費実態調査とは

全国消費実態調査は、国民の生活実態について、家計の収支及び貯蓄・負債、耐久消費財、住宅・宅地などの家計資産を総合的に調査し、消費・所得・資産にかかる水準、構造、分布などを明らかにすることを目的として、昭和34年の第1回調査以降5年ごとに実施されており、今回（平成16年）で10回目の調査となる。

調査は、全国すべての世帯のうち総務大臣の定める方法により選定された二人以上の世帯（奈良県では720世帯）と単身世帯（同52世帯）を対象とし、平成16年9月～11月の3か月間（単身世帯については、10・11月の2か月間）実施された。県内では10市と5町2村（都祁村、明日

香村、新庄町、王寺町、河合町、吉野町、大淀町）が対象となった。

### ■奈良県結果の特徴

#### ①4品目が全国1位に

今回調査対象となった主要耐久消費財44品目のうち、奈良県は1,000世帯当たり所有数量で、ビデオカメラ、DVDレコーダー、食器洗い機、ユニット家具の4品目が全国1位になった。時代の変化を反映させるため今回から新しく調査品目となったDVDレコーダー、食器洗い機は当初から1位にランクされた。

また、2位には、冷蔵庫（300L以上）、オートバイ・スクーター、ピアノ、液晶テレビが

### 奈良県の品目別全国順位（1000世帯当たり所有数量、抜粋）

※二人以上の一般世帯

品目名	H6	H11	H16	同所有数量（台）
ビデオカメラ（デジタルを含む）	11	2	1	527
DVDレコーダー	—	—	1	361
食器洗い機	—	—	1	301
ユニット家具（購入価格が20万円以上）	2	19	1	123
冷蔵庫（300L以上）	4	21	2	897
オートバイ・スクーター	4	2	2	382
ピアノ	1	1	2	353
液晶テレビ	—	—	2	107
携帯電話（PHSを含む）	—	8	3	1,998
ゴルフ用具一式（ハーフセットを含む）	10	3	3	643
電子レンジ（電子オーブンレンジを含む）	3	9	4	1,078
給湯器（ガス瞬間湯沸器を除く）	3	2	4	682
ファクシミリ（コピー付きを含む）	2	1	6	595
ルームエアコン	2	7	7	3,019
パソコン	17	7	8	1,093
カメラ（デジタルカメラを含む）	5	5	12	1,468
温水洗浄便座	10	23	16	790
プラズマテレビ	—	—	18	30
システムキッチン	3	17	20	603
自動車	37	36	35	1,508

（資料：奈良県統計課）

入った。

ピアノについては、奈良県は昭和40年調査からずっと1位を続けてきたが、1台の差で栃木県にトップを譲った。

### ②過半数の品目で全国水準を10%以上上回る

全国水準（全国平均の所有数量）を100として各品目を指数化してみると、調査対象（44品目）のうち23品目で110を上回った。なかでも、オートバイ・スクーター（189.1）、食器洗い機（156.8）、応接セット（3点セット以上）（150.7）などが際立って全国水準を上回っている。

一方、全国水準を下回ったのは、太陽熱温水器（94.6）のみとなっており、奈良県の耐久消費財普及度の高さがうかがわれる。

### ③1世帯にルームエアコン3台、携帯電話は2台

所有数量上位5品目には、ルームエアコン（3,019台）、カラーテレビ（2,370台）、整理ダンス（2,124台）、携帯電話（1,998台）、洋服ダンス（1,897台）が入っており、ルームエアコンは1世帯に3台、携帯電話が同2台となっている。

### ④電気掃除機、洗濯機、冷蔵庫はほぼ100%普及

普及率が高い品目では、電気掃除機（99.9%）、洗濯機（99.8%）、冷蔵庫（99.5%）の3品目が99%を超えており、ほぼ全世帯に普及していると

いえる。

テレビの大型化が進んでいると伝えられているが、カラーテレビは29インチ未満が86.8%に対し、29インチ以上が50.0%。また、薄型テレビでは、液晶テレビが9.5%、プラズマテレビが2.6%など液晶テレビが先行している。また、ビデオテープレコーダーが85.9%に対して、DVDレコーダーは32.3%と、新機種、新方式への移行が進みつつあることがうかがえる。

### ⑤情報通信機器の伸びが著しい

情報通信機器の代表格として、パソコン、携帯電話の所有数量が急速に伸びている。パソコン所有数は、平成11年の532台に対して平成16年は1,093台と倍増、携帯電話も1,198台（H11）→1,998台（H16）と7割近い伸びを示した。一方、温水洗浄便座や洗髪洗面化粧台など生活を豊かにする設備器具類も5年間で5割前後の増加となっている。

以上のように、奈良県においては、多くの耐久消費財で所有数、普及率が全国水準を上回っており、ハイテク関連機器等の所有も進むなど、ハイレベルで豊かな生活を志向する県民性、また、それを可能にする富裕な階層の厚みを感じられる結果となっている。

## 奈良県における、1000世帯当たり所有数量、普及率及び増加率が高い上位5品目

※二人以上の一般世帯

区分	品目名	全国平均 (台)	所有数量 (台)	普及率 (%)	対H11増加率 (%)
所有数量が多い 耐久消費財	ルームエアコン	2,347	3,019	95.6	12.9
	カラーテレビ	2,140	2,370	97.5	-2.6
	整理ダンス（作り付けを除く）	1,875	2,124	92.9	-2.7
	携帯電話（PHSを含む）	1,823	1,998	88.9	66.8
	洋服ダンス（作り付けを除く）	1,622	1,897	92.3	5.3
普及率が高い 耐久消費財	電気掃除機	1,431	1,595	99.9	3.7
	洗濯機	1,086	1,141	99.8	1.1
	冷蔵庫	1,274	1,353	99.5	5.8
	電子レンジ（電子オープンレンジを含む）	1,038	1,078	98.7	3.7
	カラーテレビ	2,140	2,370	97.5	-2.6
所有数量の増加率が高い 耐久消費財	パソコン	999	1,093	75.6	105.6
	携帯電話（PHSを含む）	1,823	1,998	88.9	66.8
	温水洗浄便座	733	790	66.3	57.7
	洗髪洗面化粧台	720	786	69.2	49.4
	ファクシミリ（コピー付きを含む）	521	595	58.8	42.0

（注意）・所有数量とは、1000世帯当たりの所有数量を表す。  
・普及率とは、当該耐久消費財を所有している世帯の割合を表す。

（資料：奈良県統計課）